

2022（令和4）年度事業報告書
（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

I 主要な会議

1 理事会

開催日	議案等	備考
令和4年4月1日	常務理事の選任の件	書面表決
令和4年5月18日	① 2021（令和3）年度事業報告及び決算の件 ② 定時評議員会の開催の件 ③ 評議員会の開催（決議の省略）の件 ④ 顧問の選任の件 〈報告事項〉 ① 2021（令和3）年度資金運用の経過の件	通常理事会（第1回）
令和4年5月31日	決算の修正の件	書面表決
令和4年6月20日	① 理事長の選任の件 ② 常務理事の選任の件	臨時理事会
令和4年7月31日	評議員会の開催（書面表決）	書面表決
令和4年10月21日	① 2022（令和4）年度事業計画及び収支予算の変更の件 〈報告事項〉 ① 2022（令和4）年度事業報告（上半期）の件 ② 2022（令和4）年度資金運用の経過の件	通常理事会（第2回）
令和5年2月1日	① 2023（令和5）年度事業計画及び収支予算の件 ② 2023（令和5）年度資金運用の執行方針及び計画の件 ③ 臨時評議員会開催の件	通常理事会（第3回）
令和5年3月31日	① 評議員会の開催（書面表決） ② 事務局長及び事務局次長の任免	書面表決

2 評議員会

開催日	議案等	備考
令和4年4月1日	理事の選任の件	書面表決
令和4年6月1日	監事の選任の件	書面表決
令和4年6月20日	① 2021（令和3）年度計算書類等の件 ② 役員の選任の件 〈報告事項〉 ① 2021（令和3）年度事業報告書の内容の件 ② 2021（令和3）年度資金運用の経過の件	定時評議員会
令和4年8月1日	理事の選任の件	書面表決
令和5年2月9日	〈報告事項〉 ① 2022（令和4）年度事業計画及び収支予算の変更の件 ② 2023（令和5）年度事業計画及び収支予算の件 ③ 2023（令和5）年度資金運用の執行方針及び計画の件	臨時評議員会

Ⅱ 事業報告

【公益目的事業会計】

1 屋久島環境文化村構想推進事業

(1) 環境学習

① 自然・文化体験事業

ア 自然・文化体験セミナー

広く全国から参加者を募り、屋久島のフィールドを活用した自然・文化体験学習プログラムを提供するとともに町内外の方々との交流等を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止や台風接近のため、一部を除き中止とした。

名称	内容	開催日	参加者数
まると屋久島研修講座～里編～			
	島内一周，バスレクチャー，西部林道，大川の滝の自然観察	令和4年4月16日	3人
まると屋久島研修講座～森編～			
	ヤクスギランド（ネイチャーゲーム）	令和4年4月23日 中止	—
地球にやさしい春旅in屋久島			
	里山の文化，太忠岳トレッキング	令和4年5月3日～5日	11人
わんぱく虫採り大作戦			
	昆虫採集，観察，同定，ライトトラップなど	令和4年7月10日 中止	—
子ども屋久島大冒険			
	野外炊飯，蛇之口の滝登山&滝つぼスィミング，星空観察など	令和4年8月3日～5日 中止	—
やくしま水旅 フィッシュウォッチング入門			
	1日目 一湊海水浴場 2日目 栗生・塚崎海岸 シュノーケリング，フィッシュウォッチング	令和4年9月18日 中止 令和4年9月19日 中止	—
秋のトレッキング			
	黒味岳登山	令和4年11月13日	6人

名称			
	内容	開催日	参加者数
冬期セミナー			
	やくしまのみかく収穫体験	令和5年1月22日	12人
	世界に一つだけのコケ玉づくり	令和5年3月5日	11人

イ ふるさとセミナー

町内在住者を対象に、ふるさとの新たな一面を再発見し、その自然環境や文化に対する意識向上等を図るため、屋久島の身近な自然を素材にした体験型研修を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部を除き中止とした。

名称			
	内容	開催日	参加者数
< 星空観察会 > 星座や宇宙への関心を高めるため町内小学校で星空観察を行う。			
	春の星空観察会（永田小学校）	令和4年4月28日 中止	—
	春の星空観察会（宮浦小学校）	令和5年2月22日 中止	—
< 研修センターオープンデー > 研修センターを無料開放し、親子で楽しめる工作・自然体験・観察等を行う。			
	「どきどき観察」 いろいろな昆虫を見てみよう 期間限定！やくしま水族館 「わくわく自然体験」 火おこしチャレンジ ネイチャーゲーム 「楽しい工作体験」 ブーメラン・空気砲など	令和4年6月19日 中止	—
< 子どもエコ隊活動事業 > 屋久島の小中学生を対象に体験的な環境学習を通して、自然環境に対する意識の向上や、屋久島の未来を担う人材の育成を図る。 令和4年度テーマは「手に取れる自然や未来を描く力から屋久島を知る～地産地消～」。			
	第1回 オリエンテーション・仲間作り ・自然体験活動	令和4年7月2日～3日 中止	—
	第2回 自然体験活動・環境学習	令和4年11月5日～6日	38人
	第3回 自然体験活動・環境学習	令和5年2月4日～5日	38人

名称			
	内容	開催日	参加者数
<自然に親しむ集い> 屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、環境省・屋久島町と共催で、自然観察活動や自然体験活動を行う。			
	・海のお宝さがし！漂着物から何が見える？（塚崎海岸） 【環境省】	令和4年7月30日 中止	—
	・夜の昆虫採集（役場周辺） 【屋久島町】	令和4年8月27日 中止	—
	・アサギマダラマーキング会 【財団】	令和4年11月20日 中止	—
<幼児環境教育推進事業> 町内未就学児とその保護者を対象に野外体験活動を実施し、幼少時代から環境意識を向上させる。			
	第1回水辺のいきものとなかよくなろう	令和4年10月23日	10人
	第2回冬の海辺でたからものさがし	令和4年12月4日 中止	—
	第3回里の森たんけん	令和5年1月15日 中止	—
	第4回研修センターでキャンプ	令和5年2月25日～26日	26人
F o r e s t d a y ～森と人がつながる1日～			
	「森と人との関わり」をテーマに様々な団体と協働し、森と人が織りなす持続可能な「共生と循環」の文化を島民に広く普及する。	令和5年2月19日	169人

ウ インターンシップ

インストラクターに必要な資質や技能を高めるため、8月17日から31日、9月6日から19日まで1人ずつ、立命館アジア太平洋大学3年生に屋久島環境文化研修センターで職場体験を行った。

② 受入事業

人と自然との関わりを理解し、環境保全への意識を高めるため、財団が作成した研修プログラムを活用する宿泊研修、一日研修及び短時間研修を行った。

令和4年度から、宿泊研修を実施する団体に限り、より効果的な学習の場となるよう、希望する団体には、オンラインでの事前研修を行った。

また、鹿児島大学教育センターとの教育協定に基づき、同大共通教育課程で実施する集中講座「屋久島の環境文化」において、大学での講義や、屋久島をフィールドとする調査研究への支援を実施した。

区分	令和3年度		令和4年度			
	団体数	参加者数	団体数	前年同期比	参加者数	前年同期比
宿泊研修	42団体	2,345人	46団体	109.5%	2,615人	111.5%
一日研修	38団体	906人	35団体	92.1%	841人	92.8%
短時間研修	5団体	46人	8団体	160.0%	84人	182.6%
合計	85団体	3,297人	89団体	104.7%	3,540人	107.3%

※オンライン研修として実施

名称			
	内容	開催日	参加者数
春日部高校(10), 茗溪学園高校(8)			
	オンライン授業(事前学習) (屋久島の概要, 国立公園法と入林許可について)	令和4年5月31日	18人

③ 屋久島高校環境学習・交流支援

屋久島高等学校普通科環境コースの生徒を対象に、屋久島・口永良部島の自然、歴史、文化について理解を深めるため、環境学習に関する研修、調査及び発表会の実施、職業体験及び中高キャリア教育連携としての中学生に対するガイド業務の体験などの活動に対して支援を行った。

名称			
	内容	開催日	参加者数
宿泊研修①			
	実地研修(水生生物調査, 陸生昆虫調査) 調査発表会	令和4年6月16日～17日	7人
宿泊研修②			
	実地研修(ヤクスギランド)	令和4年7月7日～8日	18人
一日研修(中学生セミナー)			
	実地研修(ヤクスギランド)	令和4年8月7日	11人
宿泊研修③			
	実地研修(地学調査, ブーフィコス化石観察など)	令和4年10月18日～19日	7人

名称			
	内容	開催日	参加者数
宿泊研修④			
	実地研修（公民分野，里めぐりと島内事業 所見学など）	令和５年１月19日～20日	7人
合計		5回実施	50人

④ 出張屋久島講座

町内の児童・生徒に，屋久島の環境学習を行った。

名称			
	内容	開催日	参加者数
一湊小学校			
	（３・４年生）SDGｓボードゲーム	令和４年４月19日	9人
	川の生き物講座	令和４年10月４日	11人
中央中学校			
	（１年生）SDGｓボードゲーム	令和４年５月19日	48人
	（２年生）SDGｓボードゲーム	令和４年７月14日	54人
	（１年生）ふるさと学習（ビーチクリーン）	令和４年７月15日	54人
安房小学校			
	（特別支援学級全学年）SDGｓボードゲーム	令和４年６月11日	30人
	（１年生）身近な昆虫のからだをみてみよう	令和４年９月13日	37人
	（３年生）染め物講座	令和４年12月13日	25人
宮浦小学校			
	（４・６年生）SDGｓボードゲーム	令和４年６月27日	80人
	（４・６年生）SDGｓの授業	令和４年７月５日	75人
	（２年生）SDGｓボードゲーム	令和５年１月21日	28人
神山小学校			
	（３年生）昆虫観察	令和４年７月１日	18人
岳南中学校			
	SDGｓボードゲーム	令和４年７月８日	21人
小瀬田小学校			
	（１年生）植物図鑑と屋久島の植生講義	令和４年７月14日	9人

名称			
	内容	開催日	参加者数
永田小学校			
	川の生き物観察	令和4年9月8日	19人
	永田集落探検	令和4年10月26日	14人
金岳小・中学校			
	SDGs ボードゲーム・水質講座	令和4年11月14日～15日	22人
安房中学校			
	(2年生) SDGs 講座	令和5年1月27日	31人
合計		18回実施	585人

⑤ ユネスコスクール連携推進事業

町教育委員会等と連携して「持続可能な開発のための教育」(ESD)に取り組む町内教育機関に、町から委嘱を受けたESDアドバイザーとして、積極的にユネスコスクール登録を支援するとともに、SDGsへの理解の促進を図るため、町内の学校等へカードゲームを通じた学習の機会を提供した。

教育機関名			
	内容	開催日	参加者数
安房保育園			
	(年中) 春の遠足 (カレーづくり)	令和4年4月21日	18人
	(年長) 春の遠足 (釣り)	令和4年4月28日	23人
	(年長) クリーンサポートセンター見学	令和4年5月10日	21人
	(年少) 春の遠足 (ネイチャーゲーム)	令和4年5月11日	23人
	職員研修	令和4年5月28日	26人
	(年長) ダンボールオープンづくり	令和4年6月2日	18人
	(年長) ダンボールオープンでピザづくり	令和4年6月7日	24人
	(年中) ダンボールオープンでピザづくり	令和4年6月8日	12人
	(年少) 春田浜タイドプール観察	令和4年7月15日	12人
	(年中) 屋久島一周とビーチクリーン	令和4年9月29日	20人
	(年長) お茶づくり体験と海岸散策	令和4年9月30日	23人
	(年長) たき火パンづくり	令和4年11月16日	26人
	(年中) たき火パンづくり	令和4年11月17日	24人
	(年長) 地杉加工センターの見学	令和5年2月8日	18人

教育機関名			
	内容	開催日	参加者数
安房保育園			
	(年長・中・小) ヤクスギランド探検	令和5年2月9日	47人
	(年長・年中) 年間ふりかえり	令和5年2月21日	42人
	(年長・年中) 活動報告会	令和5年3月7日	35人
安房小学校			
	(5年生) SDG s ボードゲーム	令和4年5月6日	27人
	(5年生) 地場産業見学(林業)	令和4年5月20日	31人
	(3年生) SDG s ボードゲーム	令和4年6月28日	30人
	(2年生) 春田浜タイドプール	令和4年9月9日	26人
	(1年生) 秋探し	令和4年10月27日	36人
	(1年生) SDG s ボードゲーム	令和4年11月12日	52人
	(3年生) 地場産業見学(水産)	令和5年1月12日	33人
小瀬田小学校			
	3年生から6年生 SDG s ボードゲーム	令和4年11月24日	38人
神山小学校			
	4年生から6年生 SDG s ボードゲーム	令和5年2月24日	37人
安房中学校			
	職員研修	令和4年8月19日	11人
	職員研修	令和4年8月20日	3人
	(1年生) SDG s ボードゲーム	令和4年12月5日	26人
屋久島高校			
	(3年生) 環境フェスタ準備	令和4年10月26日	9人
合計		30回実施	771人

⑥ 屋久島研究講座

町内在住者を対象に、屋久島の自然や文化に関する理解の促進・普及を図り、その未来を担っていく人材を育成するため、屋久島をフィールドとして調査・研究している研究者や専門家を講師とする講座を開講した。

演題			
講師	開催日	開催場所	参加者数
藻類が支える海のにぎわい			
水産研究・教育機構 水産技術研究所 主任研究員 島袋 寛盛	令和4年7月8日	オンライン開催	144人
発掘された屋久島～安房城～			
屋久島町社会教育課 主任 濱岡 尚志	令和4年10月20日	屋久島環境文化村センター オンライン併用	38人
屋久島学ソサエティ設立10周年を振り返る			
屋久島学ソサエティ	令和4年12月3日	屋久島環境文化村センター オンライン併用	110人
屋久島における健康ウェルネス研究のプレリュード			
屋久島学ソサエティ	令和4年12月4日	屋久島環境文化村センター オンライン併用	113人
屋久島環境文化財団設立30周年記念イベント～知床からのメッセージ～			
屋久島環境文化財団	令和5年1月18日	屋久島環境文化村センター	21人
埋もれていた史実が解き明かす シドッティが残した記録と記憶			
NPO法人やくしま未来工房 理事長 古居 智子（作家）	令和5年1月29日	屋久島環境文化村センター	30人
屋久島の森から世界の森へ 1. 花と送粉者の謎			
日本フードスタディーズ カレッジ 学長 湯本 貴和	令和5年1月22日	オンライン開催	87人
屋久島の森から世界の森へ 2. 果実と種子散布者を求めて			
日本フードスタディーズ カレッジ 学長 湯本 貴和	令和5年1月28日	オンライン開催	69人
日本をめぐるクジラの生態 屋久島の暮らしを想う～ストランディング研究から分かったこと			
国立科学博物館 動物研究部 研究主幹 田島 木綿子	令和5年2月3日	オンライン開催	82人

演題			
講師	開催日	開催場所	参加者数
屋久島は鳥の島！ 屋久島の鳥の生態地理学 島にいる鳥いない鳥			
日本野鳥の会 会長 上田 恵介	令和5年2月10日	オンライン開催	70人
屋久島エコツアーリズムの楽しみ方 旅には無限の楽しみが生まれる			
文教大学国際学部 国際観光学科 教授 海津 ゆりえ	令和5年2月13日	オンライン開催	51人
世界自然遺産登録30周年検証			
屋久島野外活動 総合センター	令和5年2月21日	屋久島環境文化研修センター	5人
屋久島の海の命を支える生きものたち 水辺に広がるゴカイの多様な世界			
NPO法人くすの木自然館 代表理事 浜本 麦 岩手医科大学教養教育セ ンター生物学科 博士研究員 菅 孔太郎	令和5年2月27日	オンライン開催	48人

(2) 環境形成

① 環境保全活動支援事業

ア 山岳部利用対策事業

屋久島の山岳部荒廃を防ぐため、縄文杉デッキにおける登山者へのマナー指導（8月14日、9月25日）や、関係機関と共に荒川登山道の安全点検（9月8日）を行った。

また、後を絶たない猿への餌付け行為禁止の啓発ポスター・ステッカーを作成した。成果品については、関係機関に配布し、観光客への周知・啓発等に活用した。

イ エコツアーリズム支援事業

屋久島におけるエコツアーリズムの取組を推進するため、屋久島町エコツアーリズム推進協議会へ参加し、支援を行った。山岳ガイド業が閑散期となる冬場に各種のスキルアップ等を目的とした各種の研修会や講習会を実施した。

その他、自然体験活動指導者（NEAL）養成団体として、広く町内外から希望者を募り自然体験活動指導者養成講習会を行った。8月に教職員自然体験活動研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

区分	開催日	参加者数
人と自然をつなげる大人の遊び場 野外活動指導者養成セミナーin 屋久島	令和4年6月9日～12日	16人
インタープリタートレーニング講座	令和4年12月8日～11日	3人
日本赤十字救急法基礎・救急員養成講習	令和5年2月2日～4日	12人
屋久島ガイドセミナー	令和5年2月21日～22日	8人

ウ 生物多様性保全事業

環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる団体に対する支援や、屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、助成を行った。

なお、令和４年度は、応募件数の増加に対応するため、屋久島町から50万円の補助を受けた。

団体等名	調査研究等内容
三重大学大学院生物資源学研究科 助教 北上 雄大	屋久杉の生育を支える土壌微生物群集を解き明かす
近畿大学農学部環境管理学科 准教授 早坂 大亮	鳥類からみる口永良部島の陸域生物多様性調査
鹿児島大学共同獣医学部臨床獣医学講座臨床病理学分野 教授 大和 修	ヤクシカ肉の品質評価に関する研究
東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻水産資源学研究室 博士後期課程１年 熊井 勇介	屋久島のオオウナギの遺伝的特異性を生み出すメカニズムの解明
鹿児島大学大学院理工学研究科 准教授 上野 大輔	ゆらぎの海，屋久島・口永良部島潮下帯海域における甲殻類相の解明
日本学術振興会（受入研究機関：高知大学農林海洋科学部） 特別研究員PD 山崎 大志	屋久島に固有な海産巻貝の進化史に関する研究：ホリカワタマキビを例とした検証
秋田県林業研究研修センター 戸部 信彦	絶滅危惧樹木ヤクタネゴヨウの保全に資する菌根菌の埋土胞子の生存期間の解明
屋久島野外調査研究会 代表 小原 比呂志	ヤクスギランド線野外博物館構想

エ うみがめ保護対策事業

うみがめの産卵・孵化場所である海浜の環境を保全するため、関係機関と協力して保護柵の設置，海岸清掃や遮光林の植樹を行った。

- ・ うみがめ保護遮光林維持管理

委託先	委託期間	実施場所
永田区 一湊を語る会	令和4年11月16日 ～ 令和5年2月17日	永田（いなか浜） 一湊（一ツ浜、二ツ浜）

- ・ 保護柵の設置及び海浜の清掃活動

主催団体	実施日	実施場所
屋久島町エコツーリズム推進協議会	令和4年4月20日	永田（いなか浜）

- ・ マリンワーカー事業

環境省から委託を受け、屋久島の主要な海岸において、地元住民及びボランティア等と連携して美化作業を行い、優れた海岸景観の保持及びうみがめ繁殖環境の保全を行った。

実施団体	実施日	実施場所
永久保区	令和4年7月24日	田代海岸
栗生区	令和4年8月27日	塚崎海岸（第1回）
栗生区	令和4年11月13日	塚崎海岸（第2回）
永田区	令和4年11月20日	永田浜（いなか浜、前浜）

② 屋久島動植物調査等事業

令和3年度に作成した「屋久島の民俗ガイド」を増刷し、希望する学校等の教育機関や図書館等への配布や、町主催の「屋久島検定」景品への提供を行った。

(3) ネットワーク形成

① ボランティアネットワークの形成

ボランティア活動の活性化を図るため、環境文化ボランティアの登録、ボランティア団体への支援、ボランティア活動に関する情報発信を行った。

- ・ 環境文化ボランティアの活動（登録者数38人）

実施日	内容	参加者数
令和4年6月4日	財団ボランティア意見交換会	4人
令和4年6月18日	アメリカハマグルマ駆除	(中止)
令和4年6月18日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	2人
令和4年6月19日	研修センターオープンデー	(中止)

実施日	内容	参加者数
令和4年6月22日	大型客船（にっぽん丸）見送り	2人
令和4年7月2日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	（中止）
令和4年7月16日	キノボリトカゲ調査	（中止）
令和4年8月8日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	（中止）
令和4年9月3日	アメリカハマグルマ駆除	（中止）
令和4年10月3日	大型客船（にっぽん丸）見送り	2人
令和4年10月4日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	2人
令和4年10月21日	大型客船（にっぽん丸）見送り	2人
令和4年10月30日	大型客船（にっぽん丸）見送り	2人
令和4年11月12日	ヤクスギランド清掃	0人
令和4年11月26日	アメリカハマグルマ駆除	（中止）
令和5年2月19日	F o r e s t d a y 補助	2人
令和5年3月4日	アブラギリ駆除	2人

・ 企業ボランティアの活動

企業名	実施日	内容	参加者数
アサヒビール株式会社	令和4年11月26日	レク森協議会とアサヒビール（株）との自然休養林内の共同清掃活動	1人

② 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

上期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業所への勧誘活動等は行わず、財団機関誌等での広報を行った。下期は、新規者・更新者向け特典にオリジナルグッズ(オリジナルネームタグセット)を追加した。

屋久島ファンクラブ会員数	701人
うち令和4年度新規加入者	57人

※ 令和5年3月31日現在

③ 財団情報誌の発行

ア 財団会報「屋久島通信」（A4版，8ページ）の発行（3,000部／号）
全国の屋久島ファンクラブ会員及び関係機関に対して、屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	主な内容
第81号	令和4年7月	平盛久 外
第82号	令和4年11月	屋久島の多毛類 外
第83号	令和5年3月	森林に潜む土壌微生物 外

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行（6,500部／月）

毎月1回町内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。また、バックナンバーも含め、ホームページにも掲載している。

④ 研究者ネットワークとの連携

町内在住者や来島した研究者等へ情報提供を行うとともに、屋久島の住民と研究者が共に学び合う組織である「屋久島学ソサエティ」や「屋久島大学」と連携し、12月3・4日に大会を共催し、研究者や専門家による屋久島における調査・研究成果の共有と地元への還元を行った。

(4) 屋久島地域づくり支援

① 里のエコツアー推進事業

ア 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 協議会事務局の運営と里のエコツアー（里めぐり）を実施した。
- ・ コロナ感染症対策のためのガイドラインを基に安全なツアーを催行できるように努めた。

(参考) 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 会員
屋久島町、財団、集落（永田、吉田、一湊、宮之浦、春牧、平内、中間、本村、安房、楠川）
- ・ 目的
屋久島の山岳部へ集中する観光のあり方を見直し、屋久島の里地へ観光の幅を広げ、新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- ・ 屋久島里めぐり参加者数（受入回数）

集落名	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数
吉田	108人	17回	1人	1回	51人	13回
宮之浦	47人	15回	90人	21回	64人	28回
春牧	70人	17回	57人	22回	97人	19回
平内	17人	5回	15人	7回	12人	5回
中間	14人	2回	27人	6回	21人	4回
永田	0人	0回	0人	0回	0人	0回
一湊	78人	13回	54人	12回	115人	20回
本村	8人	2回	1人	1回	18人	5回
安房	0人	0回	0人	0回	33人	10回
楠川	0人	0回	0人	0回	42人	7回
合計	342人	71回	245人	70回	453人	111回

令和4年度は芸能人による取材もあり、積極的な広報活動に努めた。

イ 里めぐりの推進

里めぐり未実施集落の地域資源の開拓・調査及び実施に向けた支援を行うことにより里めぐり参加集落の拡大を図るとともに、旅行エージェント等向けのモニターツアーの実施及び情報誌等を活用した情報発信等により集客を図った。このほか、町と連携して役場木造庁舎のエコツアーを実施した。

ウ 奄美まち歩き団体等との連携

奄美地域のまち歩き団体等との交流促進を図り、相乗効果による地域の活性化と環境文化の継承を図るほか、広報活動や連絡調整を行った。

エ 屋久島の名所・旧跡等説明看板の利活用及び維持管理

平成27年度から令和2年度まで設置してきた観光案内看板の活用方法の検討、破損した看板の補修や清掃等を行った。

② 地域づくり支援事業

環境保全・環境教育に関わる子どもたちの育成や地域づくりを促進するため、地域の子どもたちへのスポーツ活動に支援を行った。

団体等名	
	活動内容
屋久島選抜チーム後援会	
	全国離島交流中学生野球大会 屋久島選抜チーム支援事業

③ 特産品開発事業

屋久島町の女性団体等と連携し、町内外に新しい魅力を発信するため、地元食材を活用した屋久島の郷土料理講習会を開催していたが、令和4年度は休止した。

④ 屋久島の未来と環境文化を考える新たな協働事業

ア 30周年記念事業活動

当財団及び世界自然遺産が30周年を迎えるため、関係団体と協力して記念事業実行委員会設立に向けた協議を重ね令和4年12月15日に「屋久島世界自然遺産登録30周年記念事業実行委員会準備会」を発足させ継続して協議を進めた。また、周年事業の気運を高めるため、世界自然遺産5地域会議準備会開催日と同日の令和5年1月18日に知床世界遺産講演会を財団設立30周年のイベントとして開催した。

イ 環境文化全国展開事業活動

- i 屋久島において培われてきた環境文化の精神を全国へ発信する事業を展開していくために情報ツール（屋久島アプリ）の開発を行った。
- ii 有識者等による懇談会（やくしまじかん懇談会）を設置し、屋久島の長期的、持続的発展のための視点やアイデアについて、令和5年1月17日屋久島において議論を行った。
- iii 令和3年度に編集した環境文化村構想の啓発本「屋久島知の巨人たち」を出版し、環境文化の普及推進を図った。

⑤ 自然と社会の共生と未来に残すべき人類の遺産共創事業

令和5年度の屋久島・白神の世界自然遺産登録30年及び令和3年度の奄美・沖縄地域の新たな遺産登録を契機として、わが国の世界自然遺産5地域の連携の強化、各地域の課題の共有並びに環境文化の理念の提示及び政府等への政策提言等を目指すとともに、2025年の日本国際博覧会「TEAM EXPO 2025」のプログラム「共創チャレンジ」に参画し、日本の世界自然遺産の国際的な発信及び評価を高めていくことを目的に、22市町村長（オンライン参加9自治体）と2公益財団法人理事長の出席のもと、「世界自然遺産5地域会議」準備会を開催し、同会議を発足させた。

(5) 国際交流

① 日新交流支援事業（23年度～，10回目）

屋久島町の、「縄文杉」とニュージーランドの「タネマフタ」との姉妹木盟約締結を契機として町内中学・高校生を派遣する事業に際し、渡航に必要な経費の一部の支援を行っていたが、町の判断により中止となった。

② 留学生ホームステイ受入事業（24年度～，9回目）

町内在住者と外国人の異文化交流を図るため、鹿児島大学、鹿児島国際大学及び志学館大学の留学生を受け入れ、屋久島の文化や暮らしの体験、町内在住者との交流活動等を行うことで調整していたが、学校側からの申し出により令和4年度は中止とした。

2 中核施設管理運営事業

(1) 中核施設管理運営

屋久島環境文化村中核施設である屋久島環境文化村センター及び屋久島環境文化研修センターの管理運営業務を県から受託（指定管理者）し、その適切な管理を行うとともに、経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。

① 村センター管理運営

入館者

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比
入館者数	35,225人	30,757人	42,417人	137.9%
うち有料観覧者数	4,538人	4,113人	7,961人	193.6%

貸出施設

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数
レクチャー室	51回	53日	70回	76日	63回	91日
交流ホール	7回	251日	6回	148日	10回	249日
大型映像ホール	1回	1日	5回	5日	5回	5日

ア 施設利用促進策

施設利用促進策については、従来どおりの方法ではなく工夫して感染症等の制限下で次の事項を実施した。

- (ア) 町内宿泊施設等への案内リーフレットの配布・宿泊者への割引制度の実施
- (イ) 鹿児島港南ふ頭や高速船ターミナル、宮之浦港、安房港、町内宿泊施設等へのポスター配布、掲示
- (ウ) 旅行代理店等へ来館の働きかけ（オンライン）
- (エ) 大型客船入港時の誘客活動
- (オ) 無料の映画上映会の開催
- (カ) 各種観光誌への掲載協力

イ 開館26周年記念イベント

屋久島環境文化村センターの開館を記念したイベントを例年7月に実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

開催日	内容	参加者数
令和4年7月 (中止)	施設の無料観覧	—
	映画会	—
	工作・撮影会等	—

ウ 交流ホール展示

開催日	内容	備考
5月24日（火） ～6月26日（日）	春にかく・第3回+α展	
7月1日（金） ～7月30日（土）	NPO法人うみがめ館	
7月30日（土） ～9月1日（木）	屋久の郷	
9月3日（土） ～10月6日（木）	屋久島の里を知ろう 楠川集落編	特別企画
10月1日（土） ～10月23日（日）	発掘された屋久島 安房城	特別企画
10月8日（土） ～10月23日（日）	吉岡未琴 絵画作品展	
10月25日（火） ～11月27日（日）	秋にかく・第3回+α展	
11月29日（火） ～12月21日（水）	ハワイアンキルト展	
2月1日（水） ～2月12日（日）	シドッチ展	
2月14日（火） ～3月19日（日）	如月の柳絮展・17	

エ 映画上映会

地元財団賛助企業「屋久島電工株式会社」からの助成により、映画上映会を実施し、地元住民の福祉の向上とともに、施設の利用促進を図った。

開催日	映画名	対象	来場者数
令和4年7月23日	あまのがわ	大人	13人
令和4年12月23日	ミニオンズフューバー	子供	134人
令和5年3月21日	ボス・ベイビー ファミリー・ミッション	子供	70人

② 研修センター管理運営
利用者

区分	令和２年度	令和３年度	令和４年度	
				対前年度比
利用者数	2,794人	5,853人	5,555人	94.9%

貸出施設

区分	令和２年度		令和３年度		令和４年度	
	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数
レクチャー室	7回	7日	10回	10日	13回	13日
視聴覚室	0回	0日	2回	2日	1回	1日

ア 施設利用促進策

- (ア) 例年、県内及び県外のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）や環境科設置校等を訪問し、研修センターの環境学習プログラムを紹介して施設利用促進を図っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
- (イ) 冬季の閑散期対策として町民向けの一泊型セミナーなどを行った。
- (ウ) 6月実施予定のオープンデーについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した。
- (エ) 「7000年の森」周辺施設である屋久杉自然館、世界遺産センター（環境省）、研修センターの三者に加え、森林生態系保全センターや森林監督署、民間団体とも協力して、イベントForestdayを実施し、169人の参加があった。（前年度は120人）

③ 財団ホームページ管理運用と情報発信

財団ホームページの適正な管理運用を行うとともに、SNSの活用により、日々新しい屋久島や財団の情報発信に努めた。

④ 教育機関との連携

町教委から研修課職員3人が「ESDアドバイザー」に委嘱され、「屋久島型ESD」の推進やSDGsの普及のために町内小中学校の職員研修や授業に招へいされている。
町内中学生の職場体験学習（中央中1人 安房中1人）を受け入れた。

【収益事業会計】

書籍物品等販売事業

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、財団図書や財団オリジナルグッズ（マスキングテープ、キャラクターシール、里に特化したポストカード、キャラクターのスタンプ入りエコバッグ）、屋久島WAONカード、クオカード等や、屋久島関連書籍、屋久島の植物販売を行った。

令和4年度は、6月から図説屋久島第7刷を、7月から民俗ガイドを新たに販売した。
なお、屋久島クオカードは令和4年度で生産終了のため、在庫限りの販売となる。

【法人会計】

管理費

本部管理費

① 本部管理費

ア 理事会・評議員会

理事会、評議員会を開催し、財団の諸課題等について協議した。

イ 管理運営

財団の効率的な管理運営に努めるとともに、屋久島町内や鹿児島市内等で企業訪問を行い、賛助企業への加入、協力を呼びかけた。

ウ 屋久島世界自然遺産登録30周年事業等の検討等

令和5年度実施予定の屋久島世界自然遺産登録及び財団設立の30周年記念事業について、検討会等の開催及び有識者等の視察等を行った。

② 職員スキルアップ事業

職員の各種セミナー、学会、講習会等への参加や調査・研究を支援するなど職員のスキルアップを図った。

2022（令和４）年度事業報告書の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。